第16回原子力損害賠償・廃炉等支援機構
燃料デブリ取り出し工法評価小委員会　議事要旨

日時：令和７年７月23日（水）17:00～19:00
場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構　大会議室

　東京電力から３号機燃料デブリ取り出しに係る設計検討について、説明。
　委員等からの主な意見は以下のとおり。

- 小開口であれば上アクセス設備も小規模になるため、東西架台案は現実的である。ただし、途中で南北構台案への移行が必要となる可能性も考慮しておくべき。
- 南北構台案の工程についてもう少し精査が必要。
- 東西架台案から南北構台案への移行可能性や使用済樹脂・スラッジのリスク低減の必要性等を踏まえ、廃棄物処理建屋（ラドウェスト建屋）については１～４号機とも解体・撤去すべき。
- いずれの案でも必要となる廃棄物処理建屋の解体・撤去、内部調査、原子炉建屋内線量低減を進めることが重要。
- ３号機だけでなく、１・２号機の準備工程の併行作業についても検討が必要。
- 今回報告で想定した条件の検証や新たな課題について検討を進め、１～２年を目途に見通しを示すこと。
- 不確かさが大きいことから、今後の検討に当たって柔軟な見直しを躊躇しないこと。

（以上）